

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 消防団員貸与品購入費
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称						
章	2	自然とともに暮らすまち						
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり						
施策	2	消防・救急救助体制の充実						
小分類	1	火災予防活動の推進						
主要な施策	4	消防団の活性化						
事務事業番号	001	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f28b82;">事務事業コード</td> <td>23214001</td> <td style="background-color: #f28b82;">事業開始年度</td> <td>昭和 - 年度</td> <td style="background-color: #f28b82;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	23214001	事業開始年度	昭和 - 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	23214001	事業開始年度	昭和 - 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	消防団員貸与品購入費
------	------	------------	------------

部 名	消防本部	グループ名	総務 G
-----	------	-------	------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> 非常勤消防団員の活動に対して、経年劣化した貸与品について随時更新する。また、新入団員の貸与品を購入する。
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> それぞれの職業に従事する一方、市民の生命・身体・財産を災害から保護すると共に、被害軽減のため、昼夜を問わず、火災予防啓蒙・訓練等に献身的な努力を続けられている消防団員に対し、貸与品の整備を行った。 (新入団員に対しては、制服・制帽・作業服・アポロキャップ・黒短靴を貸与し、経年劣化した貸与品については随時、更新した。)
成果	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> 地域住民の生命・身体・財産を災害から守る消防団の、活気ある活動と消防力の充実・強化を図る。 (条例団員定数 191名 現在員数 152名)
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc; margin: 0;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p> 消防組織法 登別市消防団条例・規則

指標の推移

成果指標	区分	単位	区分	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	26年度目標
				実績値	/	/	/	/
	条例定数(191名)	人	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	6	/	/	/	/
			目標値		/	/	/	/
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	958	906	906	906	906	2,718
合 計			958	906	906	906	906	2,718
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	66	63			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		66	63			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 地域住民の安心・安全を守るため、消防力の強化は不可欠であるため妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 非常勤消防団員の実員数が増加傾向にあり、消防力の強化が図られている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 平常時の訓練のほか、火災予防に伴う警戒広報等に従事し、地域における防災の中核的存在として活動している。 事業を継続的に実施することにより消防活動の円滑な遂行と消防力の充実強化を図ることができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 非常勤消防団員の活動に必要な貸与品を購入するための予算で削減が難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	地域住民の防災意義の向上と消防力の充実強化を図るため、消防団員の増員が必要。
-----------	----------------------	----------------------------------------

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）